

明けましておめでとうございませう。健やかにご家族で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

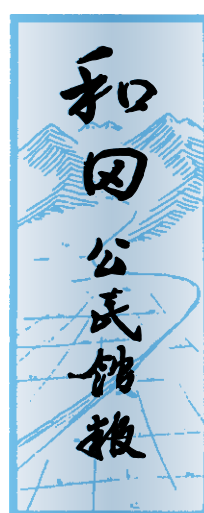
昨年中は町会運営に多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。和田地区はイベント等がしっかりと復活し盛大に楽しく前進していると考えます。昨年7月には中部縦貫自動車道早期開通のお願いの国への要望をはじめ、また、この道路が開通することから和田の歴史でもある竜田の石も地権者のご協力をいただき移動も行いました。少しずつですが未来に向け進んでいます。

ですが和田地区におきましても少子高齢化の時代の



町 会 長 会 会 長
井野根 栄雄

二〇二五
謹賀新年



和田の
世帯数・人口

世帯数	1,512戸
人 口	4,052人
男 女	1,970人
	2,082人

(令和7年、1.1現在)

波が確実に押し寄せています。それに対処するためには、住民同士が共に支えあうことが大切になります。高齢者の見守りや、子どもの安全、防災や災害時の助け合いなど、地域で解決しなくてはならない課題が増大しています。和田地区町会長会としましてはそれら課題に引き続き積極的に取り組み安全で安心して暮らせる和田地区となるよう努力していきたいと考えております。町会の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

話題は変わりますが毎年、自然災害が多発しています。今一度ご家庭においても避難行動などの対策の見直しを行ってください。結びに今年は穏やかな一年となりますよう、また、皆様のご健勝とご活躍をご祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



2日間の国宝松本城学習会を受講し、参加者全員がブチ学芸員になりました。今後、家族・知人を松本城へ案内したいと思います。



一般見学コースには無い天守3階(外からは見えない階)にて通し柱(3階～4階)の説明を受ける参加者



和田公民館にて研究専門員の方から松本城の歴史・天守躯体構造等を学びました。天守は五重六階、高さは29.4mだそうです！

◆ 松本城の良さと価値を発見 ◆
12月17日 座学
24日 松本城天守見学
国宝松本城学習会開催

11/28

新企画 WADAチャレンジャー 路線バスで行く市内探検開催



路線バスに乗車、和田地区公共交通機関の実態を再認識、松本駅前大型商業施設の歴史・建物のデザイン等について説明を受けた後店内を探検、松本市博物館にて和食展を見学「日本の自然と人々の知恵」を学びました

11/17

ファミリーコンサート開催



信州サクソフーンアンサンブルの皆さんによる素晴らしい演奏に魅了

12/25

めだかの会クリスマス会開催



サンタさんからサプライズのプレゼントが渡されました。大きな声で「ありがとう」と満面の笑み！

12/21

クリスマスコンサート開催



和田子ども会育成会の主催でクリスマスコンサートを開催しました。松本交響楽団の演奏でクリスマス気分を満喫

12/14

しめ縄づくり教室開催



最初に同じくらいの太さ・長さのわらを選んでね！これが肝心！綺麗にわらをなうコツだよ

11月28-30

第52回 和田地区芸術文化祭を盛大に開催

今年も恒例の文化祭が行われました。私が訪れたのは10時頃でしたが、すでに多くの方が来ていました。展示物では、高綱中学生の作品で、線で描いたゼンタングルのような、とても細かい絵に目を引かれ、次にクラフト紙で編み上げた手さげや小物入れなど、どれも上手で素敵でした。ひょうたんランプ…きれいでした。どうやって作ったのでしょうか？また、児童センターの子ども達が折り紙で作った、くす玉やカラフルなペロペロキャンディーなど、個性あふれる作品が並び、七五三の姿を描いた絵画に温かさを感じ、保育園の子ども達の可愛らしい絵にほっこりしました。その他、習字や写真・盆栽や生け花、見応えある作品ばかりでした。

そして、会場となった駐車場を大勢の人々で埋め尽くした、高綱中吹奏楽部の演奏。銀河鉄道999・おジャ魔女カーニバル・マツケンサンバ、迫力ある息の合った演奏。アンコールで「宝島」、この曲は吹奏楽部のテーマソングだとか…ステップを踏みダンスをしながらの見事な演奏で、とても楽しかったです。

境 宮島



いなほの会



うぐいすの会



オヒア・レファ



ひるばコール・ワダ



ルナレインボー



高綱中学校吹奏楽部



芝沢おはなしの会

ステージ発表



芝沢小学校金管バンド



大地讃頌をうたう会



夢ハーモニーつどい



和田民謡教室

展示作品



手芸



盆栽



書道



生け花

雪だるま

積雪を見るとつい作りたくなる雪だるま。一体いつから作られていたのでしょうか。江戸時代後期といわれ江戸時代に活躍した浮世絵師・歌川広景の絵に雪だるまが描かれているそうです。雪だるまといえば、二段重ねですが、海外では日本のように「だるま」というものがないのでスノーマンとよび三段重ねが主流のようです。日本の雪だるまは頭にバケツ、手には箒などお掃除大好きな姿ですが、海外は、パイプをくわえシルクハットでお洒落です。今年の雪はどうでしょう。大人は雪だるまが作れる大雪は勘弁です。

和田町 加藤